

一部新規

担当 河川環境課 河川環境担当、ダム管理担当
内線 5112、5116

目的

埼玉版スーパー・シティプロジェクトにおける地域まちづくり計画を踏まえ、市町村事業と連携した県事業の整備を進める。また、多様な主体と連携しながら河川空間の利活用を推進する「Next川の再生」に取り組む。

事業概要

1 埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進 120,000千円

(1) 水辺deベンチャーチャレンジ (拡充) 70,000千円

スーパー・シティエリア内において市町村事業と連携して、水辺deベンチャーチャレンジ事業を加速化することにより、市町村によるコンパクトなまちづくりを支援する。



大落古利根川の水辺整備(杉戸町)

(2) 浮きウキカーボンニュートラル (新規) 50,000千円

県管理調節池を活用した太陽光発電設備の設置を市町村に促すための基盤整備により、再生可能エネルギーの地産地消や地域防災によるレジリエントなまちづくりの推進を支援する。



イメージ図

太陽光発電設備設置予定地(権現堂調節池・久喜市)

2 Next川の再生の推進 1,094,000千円

寄附募集事業

(1) 民間事業者等と連携した水辺空間の利活用 1,084,000千円

水辺空間の利活用について、企画段階から民間事業者等と連携を強化し、より魅力ある水辺空間を創出する。



大相模調節池の水辺整備(越谷市)

(2) GOGO空心菜 (新規) 10,000千円

大相模調節池に「浮く畑」を設置し、民間事業者や周辺の高校などと連携して、空心菜などの水耕栽培を行い、水質改善を促進する。

併せて、大相模調節池のネーミングライツにより、民間から資金を調達し、修繕や効果測定などの継続的な維持管理を実施する。



浮く畑の設置事例(阿木川ダム・岐阜県)